

## 戦略2 えべつの将来を創る産業活性化

計画期間 平成 26 年度～ 平成 30 年度

主管部局 経済部 関係部局 総務部、企画政策部、健康福祉部

### めざす姿

- 農業・商業・工業等の連携により産業が活性化し、まちの活力が高まります。
- 市内での就労人口や交流人口が増加し、市内がにぎわいと活気に満ちています。

戦略を構成するプロジェクト事業費の推移

※ ( ) は他戦略との重複分

名 称	決算額		予算額		
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
2 A 産業間連携等による産業の活性化	28,006 千円	31,937 千円	千円	千円	千円
2 B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開	10,811 千円	41,086 千円	千円	千円	千円
2 C 雇用の創出と人材育成の支援	4,110 千円 (28,552)	53,038 千円 (770,568)	千円	千円	千円
2 D 地域資源の活用による観光の振興	4,559 千円	4,865 千円	千円	千円	千円
計	47,486 千円 (28,552)	130,926 千円 (770,568)	千円	千円	千円

### 戦略プロジェクト2 A 産業間連携等による産業の活性化

#### 【プロジェクトの目標】

それぞれの産業や企業単独ではなく、江別市の特徴的な取組である産学官連携・農商工連携を強化し、多様な主体が連携して地域に根差した産業集積をはかるとともに、大学・研究機関に恵まれた江別市ならではの知的資源や学生の力を活かした産業の活性化をめざします。

#### ◆成果指標2 A-1 (産学官・産業間連携の) プロジェクトによる新アイテム開発取組数 (累計) (単位: 件)

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目 標
0	1					5

#### ■成果動向 (評価)

個別事業については計画どおり進捗しています。経済ネットワークによる異業種間連携強化を進め、産学官連携による新商品開発 (1 件) につながっています。

#### ■改善案 (次年度へ向けた展開・課題・推進方向性)

新アイテムの開発に際しては、異業種間での交流の繰り返しの中から時間をかけて生まれてくるものであり、今後も経済ネットワークなどの異業種交流・産業間連携を継続することにより、新しいアイテムの開発に向けた働きかけを続けることとします。

◇推進プログラム2A-① 市内企業等が主体となったネットワーク構築の支援

<課題>

○市内にある大学・研究機関のほか、多様な事業者の有利性を活かす

<取組の概要>

- ・市内経済活動・産業の市民・企業へのPRによる連携のきっかけ作り
- ・農商工、産業間連携等による新製品開発・販路開拓の支援による産業の活性化
- ・地域産品開発プロジェクトの立上げ、情報提供・研究成果発表の機会の増加による異業種間連携強化

事務事業	指 標	H26年度	H27年度(予算)	H28年度	備 考
経済活動広報事業	広報した産業・企業数	4 件	6 件	件	
	事業費	900 千円	900 千円	千円	
商工業活性化事業	補助金の活用件数	24 件	35 件	件	
	事業費	4,522 千円	6,185 千円	千円	
江別経済ネットワーク事業	例会参加者数	139 人	150 人	人	
	事業費	34 千円	341 千円	千円	

◇推進プログラム2A-② マーケティングの視点に基づいた産業振興

<課題>

○商品の高付加価値化や販路拡大のノウハウを持つ事業者の育成

<取組の概要>

- ・製品試作企業を掘り起し、商品化コーディネート、マーケティング調査
- ・成果発表の機会確保及び協賛企業の掘り起し
- ・商談会等による販路拡大のほか、道外・海外への出店に対する一体的支援

事務事業	指 標	H26年度	H27年度(予算)	H28年度	備 考
食を軸とした観光誘客・地場産品販路拡大事業	商談会・催事出展企業数	24 社	29 社	社	
	事業費	182 千円	243 千円	千円	
商工業活性化事業 【重複】2A-①	補助金の活用件数	24 件	35 件	件	
	事業費	— 千円	— 千円	千円	
江別経済ネットワーク事業 【重複】2A-①	例会参加者数	139 人	150 人	人	
	事業費	— 千円	— 千円	千円	
総合特区推進事業 【重複】2A-④	食関連産業企業の新增設数	1 社	2 社	社	
	事業費	— 千円	— 千円	千円	

◇推進プログラム2A-③ 地域に根差した商店街の魅力づくりの支援

<課題>

- 地域の特性を活かした商店街の魅力づくり
- 高齢者や学生、地域住民など多様な主体や様々な世代の交流による商店街の活性化

<取組の概要>

- ・学生や高齢者など多様なコミュニティ活動主体の参入促進
- ・江別の顔づくりの一環として野幌商店街にコーディネーターの常設及び出店テナントへの支援
- ・商店街の活性化を目的としたイベント等への支援

事務事業	指 標	H26年度	H27年度(予算)	H28年度	備 考
野幌駅周辺地区商店街活性化促進事業	相談件数	112 件	240 件	件	
	誘致件数	0 件	1 件	件	
	事業費	3,980 千円	8,548 千円	千円	
商店街参入促進事業	セミナー参加者数	47 人	50 人	人	
	サポート事業実施数	7 件	2 件	件	
	事業費	530 千円	750 千円	千円	
商工業活性化事業 【重複】2A-①	補助金の活用件数	24 件	35 件	件	
	事業費	— 千円	— 千円	千円	

◇推進プログラム2A-④ 大学・研究機関との共同研究の推進

<課題>

- ネットワークの活力向上
- 連携強化の仕組みづくり

<取組の概要>

- ・連携強化と自立的運営に向けた仕組みづくり
- ・ネットワークの自立的な運営に向けた支援
- ・機能性素材の活用や、地元産食材を活用した輸出向け商品といった産学連携による新商品開発に係るモデル的取組の支援
- ・既存補助金の利活用による産学連携の取組支援

事務事業	指 標	H26年度	H27年度(予算)	H28年度	備 考
総合特区推進事業	食関連企業の新増設数	1 社	2 社	社	H27事業費の一部をH26補正前倒し 6,500 千円
	事業費	17,858 千円	8,470 千円	千円	

【プロジェクトの目標】

江別市の基幹産業の一つである農業が、第2次産業・第3次産業と連携して実施する江別産農畜産物の高付加価値化の取組や立地環境を活かした食関連産業の集積を図るとともに、江別産の「食」について市内・道内はもとより道外・海外といった広域的な市場ニーズに合わせた販路拡大への取組などを支援します。

◆成果指標2B-1 えべつの農産物加工品認定数（累計）（単位：件）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目 標
0	5					22

■成果動向（評価）

農産物加工品の主な原材料を江別産とすることなどを条件とした認証制度が、平成26年度からスタートしており、初年度の認定数は、ケチャップ、ジャム、ジュースなど計5件となっています。農業者自らが農業の閑散期などを利用して商品開発や製造等を行うため、単年度に多くの件数は見込めませんが、次年度以降も着実に件数を増やしていくことで、えべつの農産物加工品のPR及びブランド力の向上に寄与するものと考えます。

■改善案（次年度へ向けた展開・課題・推進方向性）

認定を受けた安全安心な地元農産物加工品の認知度を高め、販売促進や今後の認定件数の増を図るため、直売所やイベントでのPR等を推進していきます。

◇推進プログラム2B-① 「食」の付加価値を高める産業の集積

<課題>

- 企業立地を推進するための江別市の魅力付け
- 企業間連携を図るための企業情報の収集・PR

<取組の概要>

- ・企業ガイド等の作成、更新などによる市内企業のPRと企業間連携の促進（工業団地協同組合等との連携）
- ・フード特区制度や企業立地にかかる補助制度の運用による食関連企業等の立地促進（H26江別市企業立地等の促進に関する条例施行）

事務事業	指 標	H26年度	H27年度(予算)	H28年度	備 考
企業誘致推進事業	立地企業・事業所数	5社	2社	社	
	事業費	2,262千円	1,987千円	千円	
企業立地等補助金	補助金認定件数（累計）	22件	25件	件	
	事業費	5,180千円	34,900千円	千円	

◇推進プログラム2B-② 付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援

<課題>

- 市内企業の体力や海外戦略の段階に応じた、海外展開支援
- 市内外への継続的なPR
- 需要を伸ばすための支援
- 加工品開発のノウハウ等支援
- 農畜産物の高付加価値化
- 販路拡大等の支援

<取組の概要>

- ・意欲のある市内企業に対する商社と連携した低リスクによる海外販路開拓支援
- ・広報等メディアの活用等によるPR体系構築
- ・消費者向けイベントの開催支援等
- ・地域のブランド品表示をする農産物加工品のPR
- ・商談会の出展等支援

事務事業	指 標	H26年度	H27年度(予算)	H28年度	備 考
都市と農村交流事業	グリーンツーリズム関連施設の利用者数	485,790 人	427,000 人	人	
	イベント参加者の関心度	100 %	80 %	%	
	事業費	1,069 千円	992 千円	千円	
江別産農畜産物ブランディング事業	特産品認知個数	2 個	2 個	個	H27事業費はH26補正前倒し 3,207 千円
	事業費	2,300 千円	0 千円	千円	
総合特区推進事業 【重複】2A-④	食関連企業の新増設数	1 社	2 社	社	
	事業費	一 千円	一 千円	千円	

戦略プロジェクト2C 雇用の創出と人材育成の支援

【プロジェクトの目標】

「働きたいまち・えべつ」・「企業が立地したいまち・えべつ」をめざして、企業にとって魅力的な立地環境を整備するなど、企業立地の促進による雇用創出と、企業が必要とする労働力を確保するための就労支援・人材育成に一体的に取り組めます。

◆成果指標2C-1 市内企業へ就職した市内の新卒者数（高校・大学）（累計 単位：人）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目 標
45	55					250

■成果動向（評価）

市内には5つの高校と4つの大学があり、その卒業生が地元就職することは、人材確保の点からも好ましいことと思われます。このため、平成26年度は、高校生の就職支援事業を実施するとともに、高校・大学に対し市内企業の情報提供に努めたことなどにより、市内企業へ就職した市内の新卒者は55名となり、目標の50名を上回りました。

■改善案（次年度へ向けた展開・課題・推進方向性）

平成27年度においても、高校生に対しては就職支援事業、大学生に対しては有給インターンシップなどを引き続き実施し、さらに市内企業の紹介などを継続することにより、市内企業への就職者の増加を目指します。

◇推進プログラム2C-① 企業誘致のための条件整備

<課題>

- 新たな補助制度の周知
- 工業用地の確保
- 年度途中からでも待機することなく保育園に入園できる体制の整備
- 多様な保育（子育て支援）ニーズへの対応

<取組の概要>

- ・企業立地の補助制度のPRによる企業の立地促進
- ・企業誘致のための新たな工業用地の確保
- ・グループ型小規模保育事業の実施による待機児童解消の推進と子ども子育て新システムの先取り実施
- ・市立保育園の整備と運営等に関する計画の推進（若草乳児保育園と白樺保育園統合園の建設）

事務事業	指 標	H26年度	H27年度(予算)	H28年度	備 考
待機児童解消対策事業 【重複】3A-①	待機が解消された児童数	13人	99人	人	
	事業費	(6,475)千円	(113,109)千円	千円	
白樺・若草乳児統合園建設 整備事業 【重複】3A-①	入所児童数	116人	140人	人	
	入所率	97%	100%	%	
	事業費	(22,077)千円	(657,459)千円	千円	
企業立地等補助金 【重複】2B-①	補助金認定件数（累計）	22件	25件	件	
	事業費	-千円	-千円	千円	

◇推進プログラム2C-② 潜在労働力の掘り起こし（就労支援）

<課題>

- 市内企業の求人に対する十分な労働力の確保
- 子育て等をしながら働きたい女性の課題解消

<取組の概要>

- ・女性の就労促進に向けた技能講習会実施や企業情報の提供
- ・働きたい女性と企業とのマッチングや子育て支援相談等を合わせた複合的イベントの開催
- ・グループ型小規模保育事業の実施による待機児童解消の推進と子ども子育て新システムの先取り実施
- ・市立保育園の整備と運営等に関する計画の推進（若草乳児保育園と白樺保育園統合園の建設）

事務事業	指 標	H26年度	H27年度	H28年度	備 考
働きたい女性のための就職 支援事業（技能習得）	技能講習会受講者数	32人	—人	人	H26実施の「働きたい女性のための就職支援事業（技能習得）」と「同（情報提供）」、「同（機会提供）」を統合 H27事業費は H26補正前倒し 26,897千円
	事業費	193千円	—千円	千円	
働きたい女性のための就職 支援事業（情報提供）	広報紙を読んでいる市民の割合	87.8%	—%	%	
	事業費	298千円	—千円	千円	
働きたい女性のための就職 支援事業（機会提供）	イベント来場者数	130人	—人	人	
	事業費	891千円	—千円	千円	
待機児童解消対策事業 【重複】3A-①	待機が解消された児童数	13人	99人	人	
	事業費	—千円	—千円	千円	
白樺・若草乳児統合園建設 整備事業 【重複】3A-①	入所児童数	116人	140人	人	
	入所率	97%	100%	%	
	事業費	—千円	—千円	千円	

◇推進プログラム2C-③ 産業の担い手の確保、人材育成の支援

<課題>

- 市内大学・高校等から市内企業へ就職する者の増加
- 市や市内企業等で活躍する人材の増加
- 大学生を市内での就業につなげる実践的な仕組の整備

<取組の概要>

- ・インターンシップ（就業体験）や面接指導等による市内高校生の就職支援
- ・大学生対象の有給インターンシップ推進による学生と企業両者への支援
- ・大学生の人材育成を目的とする市役所での長期インターンシップ（実学教育）の実施
- ・インターンシップの効果検証及び商工会議所・民間企業等への情報提供・啓発

事務事業	指 標	H26年度	H27年度	H28年度	備 考
有給インターンシップ等地域就職支援事業	企業説明会参加企業数	3 社	5 社	社	H27事業費はH26補正前倒し 11,770 千円
	事業費	2 千円	0 千円	千円	
高校生就職支援事業	就業体験に参加した生徒のうち、意義があったと思う生徒の割合	96 %	100 %	%	H27事業費はH26補正前倒し 2,500 千円
	就職希望者に対する研修等に参加した生徒のうち、役に立ったと思う生徒の割合	85 %	100 %	%	
	事業費	2,613 千円	0 千円	千円	
介護人材育成事業	資格取得講習会修了者数	/	10 人	人	H27新規事業
	介護事業所就職者数		10 人	人	H27事業費はH26補正前倒し
	事業費		0 千円	千円	11,458 千円
市内大学等インターンシップ事業	インターンシップ参加学生数	9 人	10 人	人	H27事業費はH26補正前倒し 413 千円
	インターンシップ参加に意義があったと思う学生の割合	100 %	100 %	%	
	事業費	113 千円	0 千円	千円	

戦略プロジェクト2D 地域資源の活用による観光の振興

【プロジェクトの目標】

石狩川や野幌森林公園などの豊かな自然、地場産品、公共施設や歴史的建造物など、既存の地域資源を再評価し、観光資源として有効活用するとともに、大都市である札幌市に隣接しているという地の利を最大限に活かした、江別市ならではの観光を推進します。

◆成果指標2D-1 主要観光施設の利用者数（単位：人）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目 標
126,000	147,407					132,600

■成果動向（評価）

平成25年度に実施した江別地区に続き、大麻地区の健康ウォーキングマップを作成し、自然や歴史的建造物等を観光資源として活用するとともに、合わせて飲食店等を紹介することで、観光資源のパッケージ化に取り組みました。その結果、主要観光施設の利用者数は目標を上回りました。

■改善案（次年度へ向けた展開・課題・推進方向性）

観光ルートマップの作成は、近隣市の子育て世帯に江別の魅力を知ってもらうことを目的に発行したところであるが、定住促進のためのパンフレットに子育て世帯向けの観光情報を掲載する等、パンフレット類の統合も視野に入れ、効率的なプロモーションを検討・調整していきます。こうしたことにより、主要観光施設の利用者数についても、平成26年度の結果を上回るよう取り組んでいきます。

◇推進プログラム2D-① 地域資源の観光への有効活用

- 市外における「江別」の認知度の向上
- 大都市札幌に隣接している優位性を十分に活かす

<取組の概要>

- ・札幌に近接する地の利を活かし、れんが・食・体験など多様な資源を観光プランとして、ターゲットを絞った旅行雑誌など効果的な広告媒体の利用による観光PR
- ・ウォーキングやバスツアーなどによる江別の魅力発信
- ・札幌圏を対象とする農業体験バスツアーの実施

事務事業	指 標	H26年度	H27年度(予算)	H28年度	備 考
地域発見魅力発信事業	主要観光施設観光入込客数	147,407 人	129,000 人	人	
	事業費	2,852 千円	3,015 千円	千円	
都市と農村交流事業 【重複】2B-②	グリーンツーリズム関連施設の利用者数	485,790 人	427,000 人	人	
	イベント参加者の関心度	100 %	80 %	%	
	事業費	— 千円	— 千円	千円	

◇推進プログラム2D-② 観光資源のパッケージ化

<課題>

- 札幌近隣において主流の都市型観光の促進
- 個別の観光情報の提供

<取組の概要>

- ・発掘した地域特性や魅力を観光プランに盛り込み、交通手段別（車・自転車・徒歩・公共交通機関）、目的別（れんが・食・体験・健康等）に応じた多様な観光ルートの提案
- ・スタンプラリーの実施、ターゲットを絞った旅行雑誌・HPなどの広告媒体の利用による、観光PR

事務事業	指 標	H26年度	H27年度(予算)	H28年度	備 考
江別観光協会補助金	観光協会事業件数	7 件	7 件	件	
	事業費	1,707 千円	1,850 千円	千円	
地域発見魅力発信事業 【重複】2D-①	主要観光施設観光入込客数	147,407 人	129,000 人	人	
	事業費	— 千円	— 千円	千円	